道徳科　本時の学習指導案（第３次案）　　　　　　　　　　　　令和１年９月９日（月）　第３校時

１年２組　授業者

題材　「　じぶんのきもち　あいてのきもち　」　１時間中の第１時

(1)　学習のねらい

授業挨拶の注意をする時についつい厳しい口調になってしまう子どもたちが、絵本を読み、周りのひとの気持ちを大切にすることを自分事として考えることを通して、日常生活の中で自分の気持ちだけでなく相手の気持ちも考えた言動をすることの大切さに気づき、お互いが気持ちの良い言動をするための方法を考えることができる。

(2)　本時の学習材

２−２の授業挨拶の様子を示した動画

- o（学習材提示のタイミング）子どもたちは１−２の動画を見る中で授業前の自分たちの様子を客観視していくだろう。そのような意識を捉えたところで本学習材を提示する。
- o（学習材の価値）本学習材は２−２の授業開始前の様子を撮影した動画である。授業前の自分たちの様子を客観視した子どもたちは、一学年上の２−２の授業前の様子と自分たちの様子を比較していくだろう。さらにどうしたら２−２に近づくか考えることに期待を膨らませていくだろう。このようにしてお互いが気持ちの良い言動をするための方法を考えることができる。

(3)　学習の展開

過程	学習活動	予想される子どもの動き	時間	指導と評価
課題把握	１日常の授業の挨拶の前の言動を振り返る	oみんなの授業始まる前はこんな感じみたいよ ・これ一時間目のときのだ ・うるさいね 学習問題 まわりのひとのきもち、わかっているかな？	８	o自分たちの様子を客観的な視点で見ることによって 学習材 **２―２の授業挨拶の様子を示した動画**
展開	学習課題 授業の挨拶が始まる前のみんなは、周りの人の気持ちを考えているかな？		１５	oお当番さんの気持ちだけでなく注意するときの言い方や適当な声の大きさも考える。言われた側の気持ちも十分に配慮できることを期待する。
	２二年生の授業前の様子を観察し比較する（学習材の提示）	oみんなも同じようなときあるよね ・そうだよ、だってうるさいもん ・お当番さんの気持ちかんがえようよ ・でも何回も注意しなくてもいいじゃん ・はやく準備したらいいんだよ		o言葉の言い方を区分する際は優しいや厳しいではなく「ふわふわ言葉」と「ちくちく言葉」に分けたい。
終末		o言い方とか声の大きさ、回数はこうやって言えばいいんだね（？） ・ちょっときついと思う ・言われすぎてもかわいそうだよ	１０	oワークシートに今日考えたことを記入し、自分の言動を振り返り今後に生かす手立てを作り、発表することで考えを共有する。可能であれば羊さんの気持ちを考えることも同様であると考えさせたい
	３今後の授業の挨拶時に行う言動を自分ならどうするか考え、発表する	oじゃあこれからはどうやって行動しようか？ （ワークシート・発表） ・お当番さんの気持ちは考えたい ・注意するのをもっと優しくしたい ・相手がどう思うか考えて言いたい	１２	評価 お互いが気持ちの良い言動をするための方法を考えることができる （ワークシート）